

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
岐阜市	網代	令和3年3月12日	令和6年3月15日

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	190.68 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	109.35 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	41.52 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	13.27 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	5.81 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	22.12 ha
(備考) 地区内の耕地面積 190.68haの内訳 : 水田 121.53ha / 畑 69.15ha	

注1:③の「75才以上」には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。

注2:④の面積は、下記の「(参考)中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。

注3:アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。

注4:プランには、話合いに活用した地図を添付してください。

## 2 対象地区の課題

地区の認定農業者を中心経営体として位置づけ農地の集積・集約化を進めているが、地区内の中心経営体の数が不足している。北部中山間部は土地の高低差があり、水田の区画が小規模で作業効率が悪い。また、日照時間が短く湿田も多く、立地条件が悪い。山麓を開拓し樹園地(柿園)が多いが、病害虫が多発、高齢化、後継者不足で耕作放棄や伐採が進んでいる。鳥獣被害等も問題となっている。

注:「課題」欄には、「現状」を基に話合いを通じて提示された課題を記載してください。

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中心経営体である認定農業者を中心に、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより、農地の集積・集約化を進める。また、地域農業へ向けた取り組みを進める。

注1:中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。

注2:「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

○農地中間管理機構の活用方針

貸付希望の農地は、原則として農地中間管理機構に貸し付けていく。

中心経営体が何らかの事情で営農の継続が困難になった場合には、新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れとともに、機構を通じて中心経営体への貸付けを進めていく。

○鳥獣被害防止対策

地区全体での鳥獣被害の把握、捕獲体制の構築等に取り組む。

里山環境保全事業や県、市、JAの鳥獣害対策補助事業を活用し、環境整備についての取り組みを進める。

○地域農業への取り組み

地区内の畜産農家へ供給するため、牧草を中心とした農地利用を進める。

○新規・特産化作物の導入

特産物である富有柿の生産対策に力を入れるとともに、網代地区の土地柄にあった新規作物の導入と協賛する組織づくりを進める。

○基盤整備への取り組み

小面積区画の湿田が多い中山間地域について、基盤整備を検討する。